

# 元気いっぱいな国産天敵！

# ミヤコスター☆

ミヤコカブリダニ剤



2000頭入

**野菜類、いちご（施設栽培）で適用拡大！**



登録内容（赤字：適用拡大部分）

2016年10月現在

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ミヤコカブリダニを含む農薬の総使用回数
<b>野菜類</b> (施設栽培、ただし、いちごを除く)	ハダニ類	<b>2000頭/10a</b>	発生初期	—	放飼	—
いちご (施設栽培)		2000～ <b>6000頭/10a</b>				



### 【ミヤコスターの特長】

- 薬剤抵抗性を発達させた、難防除ハダニ類も捕食します。
- 花粉を餌にできるため、ハダニ類の発生前から放飼できます。
- 専用注文書にて受注後、速やかに発送します\*。そのため、放飼までのスケジュール調整に貢献します。

\* 土日・祝祭日・年末年始・天候・地域により、納品日は異なる場合があります。

### 【放飼の仕方】



- ① ボトルを横向きにして5分程度置いてください。
- ② 上に登ってきたカブリダニを落とすため、外ぶたを取り、内ぶたを軽く叩いてください。
- ③ 中身が均一になるように、縦と横に10回程度やさしく回転させてください。

- ④ 外ぶたの厚みを目安に、内ぶたをめくり放飼してください。
- ⑤ 歩きながらふりかけ、畝全体に放飼してください。一畝終わったら③を繰り返してください（2~3本/10a）。
- ⑥ 中が空になったら、内ぶたを全てめくり、株元にボトルを数日置いてください（中のカブリダニが出てきます）。

### 【影響のある薬剤を避けること以外に、上手に使うポイント】



- ・ハダニによるクモの巣が見られる時に放飼した場合、捕食が追いつかない場合があります。
- ・放飼前は殺ダニ剤やエコピタ液剤等の散布を行い、極力密度を減らした後、直ぐに放飼してください。
- ・発生初期では、チリカブリダニ剤も放飼してください（2000頭を2~3本、発生場所中心）。



- ・効果は子供、孫の代までカブリダニが増えてきた時発揮されます。
- ・温度が必要なため、最初は11月上旬までに放飼してください。

### エコピタ®液剤



- ・還元水あめを有効成分とした気門封鎖剤です。
- ・薬剤の効きにくいハダニを絡めとって窒息させます。
- ・薬害リスクも低く、何回でも使用できます。
- ・育苗期から天敵放飼前にハダニの密度を減らすため、4~5日間隔の連続散布か、殺ダニ剤と混用して散布してください。
- ・葉裏までしっかり丁寧に散布してください。

(イメージ図)



●ラベルをよく読む。 ●記載以外には使用しない。 ●小児の手の届くところには置かない。 ●空容器は圃場等に放置せず適切に処理する。